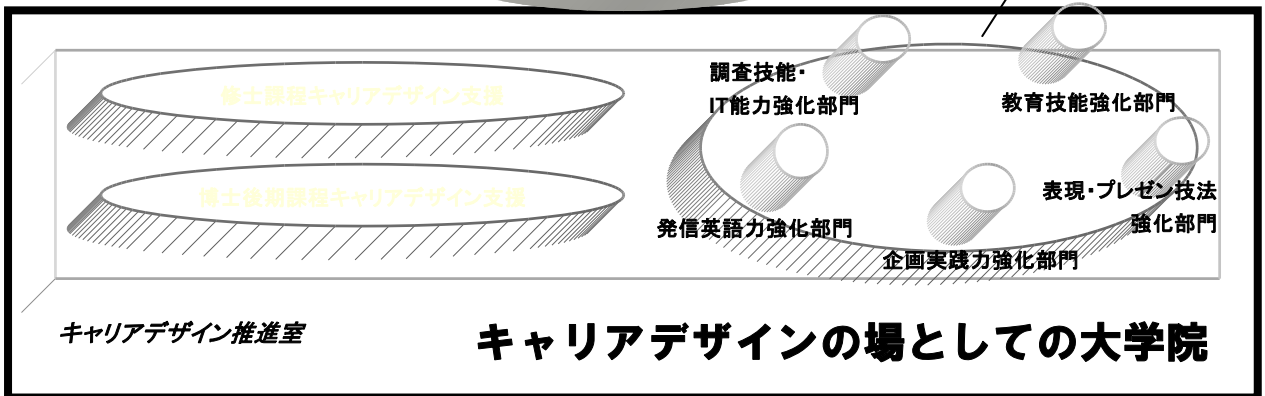
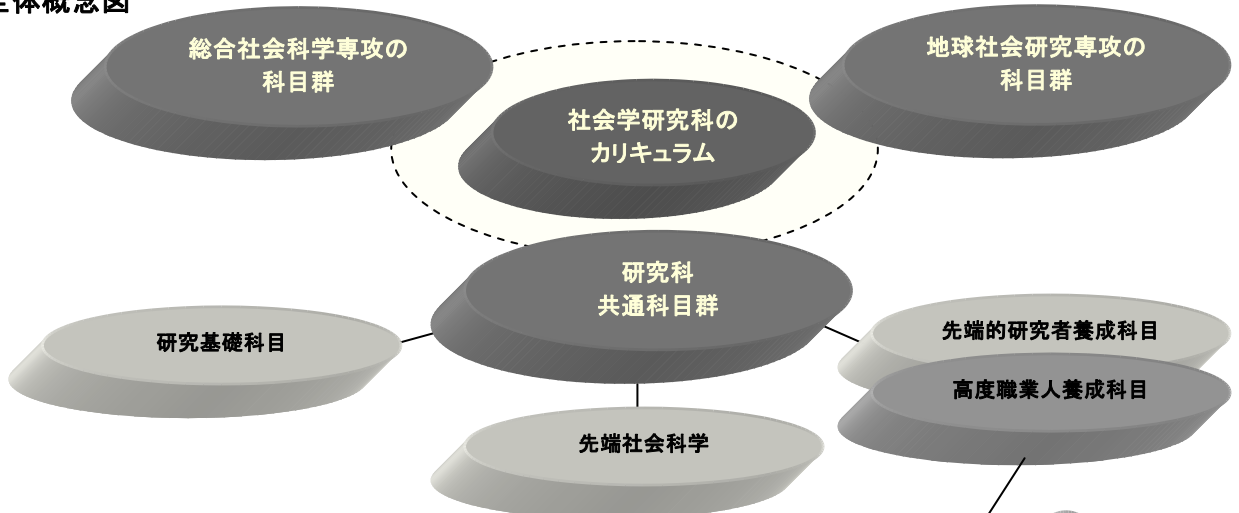


教育プログラムの概要及び採択理由

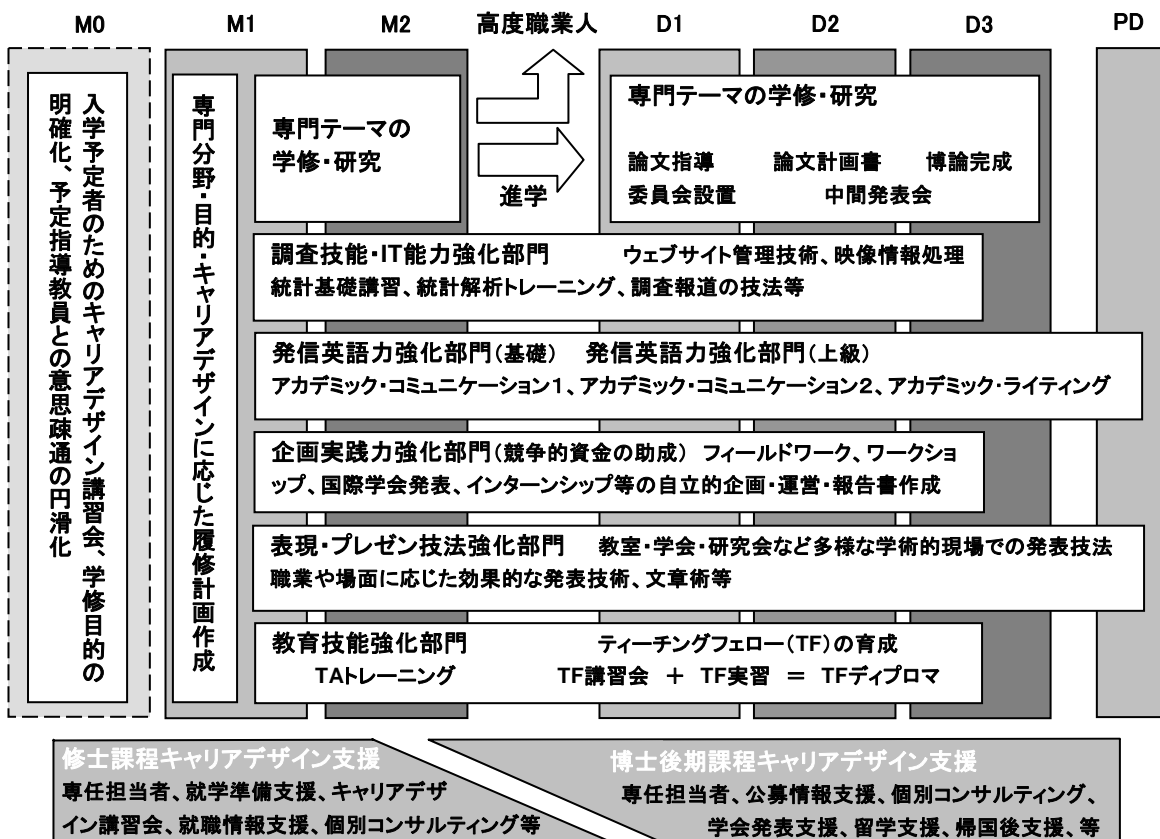
機 関 名	一橋大学	申請分野(系)	人社系
教育プログラムの名称	キャリアデザインの間としての大学院 (入口・中身・出口の一貫教育プログラム)		
主たる研究科・専攻名	社会学研究科総合社会科学専攻、地球社会研究専攻		
(他の大学と共同申請する場合の大学名、研究科・専攻名)			
取組実施担当者	(代表者) 渡辺 雅男		
<p>[教育プログラムの概要]</p> <p>わが国を代表する社会科学の大学院教育機関である一橋大学の実学的学問伝統を踏まえ、一橋大学大学院社会学研究科は、大学院を「研究者を含む高度職業人を養成するキャリアデザインの間」と捉える。この観点に立つ当プログラムでは、入口(就学準備支援)・中身(カリキュラム改革)・出口(就職進学支援)を一貫させた教育実践を展開する。その目標は、実質ある大学院教育プログラム(修士課程・博士後期課程)と就職支援実績を世に提示し、多様で質量とも優れた学生を本研究科に招来して職業的流動化の進む21世紀にふさわしいキャリアデザインを構想させ、研究基礎能力と専門応用力の涵養を図りつつキャリアプランの達成にむけたモチベーションある大学院生活を送らせることによって、新陳代謝の良い教育課程を作り上げることにある。</p> <p>当プログラムでは、キャリアデザインの間としての大学院という発想を、本研究科が現在鋭意推進中の「社会科学の先端的な研究者養成プログラム」(平成18-19年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ)において蓄積してきた成果や経験の組織的・体系的な発展的展開のなかで実体化し、下記事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 一橋大学大学院社会学研究科に「キャリアデザイン推進室」を設置し、当プログラムの推進とマネジメントの中核的組織とする。 (2) 「社会科学の先端的な研究者養成プログラム」という基盤の上に立ち、そのいっそうの発展を企図してキャリアデザインに資する大学院科目を拡大発展させ、アカデミックキャリア志望、ノン・アカデミックキャリア志望を問わず大学院修了者に共通して必要な基盤的・専門応用的教育を与えるとともに、先端的かつ実践的なスキル訓練の間を提供する。 (3) 修士課程院生を担当するキャリアデザイン支援者を雇用し、社会科学系修士課程修了者の求人情報の調査分析、目標設定と達成支援のコンサルティング、キャリアデザイン講習会の開催と就職指導強化、インターンシップ等の企画運営、アカデミックキャリア志望者の相談受付、就職進学目標未達成の院生ケアと留年者数の低減などを図る。 (4) 博士後期課程院生を担当するキャリアデザイン支援者を雇用し、本研究科博士後期課程進学を目指す修士課程院生・既修生への情報支援、入学者へのコンサルティングと個別の将来計画カルテ作成、海外留学や外部資金獲得に関する相談と情報提供、帰国留学生のソフトランディング支援、教員公募情報支援、就職目標未達成の院生ケアと留年者数の低減などを図るとともに、修業年限内の課程博士号取得を側面援助する。 <p>以上の事業を体系的かつ組織的に展開し、本研究科からの有為な人材の輩出を企図するとともに、社会科学系大学院における教育モデルを確立し公開する。この教育モデルの提起を通じ、我が国の大学院教育の実質化に波及効果をもたらすことを、当プログラムの最終目標とする。</p>			

履修プロセスの概念図 (履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。)

全体概念図



履修プロセス概念図



一橋大学：キャリアデザインの間としての大学院

<採択理由>

大学院教育の実質化の面では、明確な目的に沿った教育課程が十分に整備された教員組織のもとに適切に編成されている点、ファカルティ・ディベロップメントの実施体制や情報提供体制も整備されている点が高く評価できるが、アカデミック・キャリアのための教育プログラムと本プログラムとの関連を明確にする工夫を講じることが望まれる。

教育プログラムの面では、「キャリアデザイン推進室」を設置し、大学院生に必要な専門応用能力を体系的に提示し、それらに特化した教育を展開しようとしている点は意欲的であり、大学院教育におけるキャリア支援システムのモデルとしての成果が期待される。